

平田のイメージアップ産品

第一次完成品お披露目



第一次完成品を試食する沢村村長（右から2人目）ら

ブッセや柏餅など13品

事業報告会が二十七日、同村商工会館で開かれ、第一次完成品・試作品が披露された。

研修会は、県の地域づくりサポート事業の助成を受け、昨年十二月から計七回開催している。

アドバイザーに東山雅広販売企画研究所社長を迎え、同村商工会員らでつくる道の駅ひらた物産組合（佐藤晋也会長）の二十九人が特産品開発に取り組んできた。

第一次産品としてお披露目されたのは芝桜のイメージキャラクター「ジュッピ」をイメージしたブッセやリンゴのワイン煮、柏餅

平田村に今夏オープンする（仮称）道の駅ひらたで販売を目指したイメージアップ商品づくり研修会の

（かしわもち）、人気の生キャラメル、木工の鈴など試作品を含む十三品。

報告会には各産品開発者や沢村和明村長、木田武一

村議会議長らが出席。産品開発者が商品のプレゼンテーションを行った後、出席者全員で試食、批評し合った。最後に高野哲也同道の

今夏オープンの道の駅ひらた

加工品13作

さらに改良し販売

道の駅ひらたで販売する加工品の開発に取り組んできた平田村イメージアップ商品づくり研修会の事業報告会は二十七日、同村商工会館で開かれた。会員が検討を重ねた十三の劣作が披露された。



披露した商品の数々と開発者

「予想より多くの商品ができた。道の駅の成功に導けるよう頑張りたい」とあいさつ。沢村和明村長が祝辞を述べた。東山社長は「ヒット商品よりも長寿商品を目指し、安定的に供給することが大切」と述べた。この後各商品のプレゼンテーションを行い、ネーミングやパッケージの工夫、

商品化でこだわった点、発売までの課題などを説明した。試食も行い、きたなく感想を述べ合った。高野哲也駅長も商品の一つずつ講評し、人気を得るヒントを与えた。今後さらに改良し、今夏オープンする同道の駅での販売を目指す。商品は次の通り。

時産ミルク蔵・Laと時産豆乳蔵・La（若清水酒造）ひらた麵（野沢製菓）米所）ジュッピブッセ、純ちゃんプリン（里の菓子如よし）おかあちゃんの柏餅（村商工会女性部）豆腐屋さんの豆乳入り納小町、豆腐屋さんの元気で小ざる（ふくろや）りんごのワイン煮、りんご大福（天和田工房）ジュッピ生キャラメル（豊野ストアール）幸せの開運鈴、森の小人どんぐり君（TOSHIC RAPT）芝桜の里井当金屋総合産直組

# 目指せ 特産品開発

平田村に来春オープンする「道の駅ひらた」(仮称)での販売を目指したイメージアップ商品づくり研修会が九日、同村商工会館で開かれた。

同商工会員らで組織する「道の駅ひらた物産組合」(仮称)のメンバーら約二十人が出席し、新たな特産品開発や既存の商品をどのようにして道の駅で販売するかなど、意見を交わした。各意見に対し、東山雅広販売企画研究所社長がアドバイスを送った。

出席者からは、同村特産の自然薯(じねんじょ)を使った商品をはじめ、芝桜や芝桜の里マスコットキャラクターの「ジュッピー」をイメージしたお菓子などのアイデアが出された。また、出席者全員でリン

## 道の駅ひらた物産組合 研修会で意見交換



特産品開発などに向け意見を交わした研修会

### 商品づくりのアイデア提案

ゴを使ったデザートやネーミングを考え、今後の特産品開発に向け、互いにアイデアを出し合う重要性を認識した。今後とも継続して同研修会を開催し、具体的な商品づく

くりに向けて話し合いを行うついでにとりまう。

### 来春オープンの道の駅ひらた

## 人気商品開発へ 研修会スタート

来春オープンする道の駅ひらたで平田村のイメージアップにつながる商品を開発するための第一回研修会は九日、同村商工会館で開かれた。

県の地域づくり総合支援事業。売れ筋商品の開発を目指し、試作やパッケージデザイン、ネーミングなどを検討する。商工会加盟

の事業所による物産組合(佐藤晋也会長)から約二十人が参加した。

初回は各自の意見の集約を行った。候補商品もいくつか挙がり、リンゴのワイン煮についてはネーミングなども考え合った。郡山市の販売企画研究所の東山雅弘社長の指導のもと、段階を踏んで事業

候補商品も提案された第1回研修会



展開を図ることを確認した。

今後は各自が販売企画書を作成。道の駅での販売を目指し、年度内に八回程度の研修会を予定している。